

平塚ピタットハウス杯

第24回(2016)平塚市学童野球選手権大会 マクドナルド 平塚地区6店協賛

1. 目的 青少年の健全育成と学童野球の健全な発展を目的として開催します
2. 主催 平塚市少年野球連盟
3. 後援 ピタットハウス平塚店・平塚市・平塚市教育委員会
4. 協賛 マクドナルド平塚地区6店
5. 参加資格 平塚市少年野球連盟に加盟しているチーム
6. チーム編成 監督1人、コーチ2人、代表者、マネージャー、スコアラー、各1人、選手20人以内
選手は、同一小学校区内に在住・在学する児童。但し、例外を認める。
7. 選手登録 特に行わず、当日の試合前に提出するメンバー票で確認する。
8. 参加費 1チーム 6,000円(抽選会に納付)
9. 表彰
優勝チーム 賞状、ピタットハウス杯、優勝旗、(株)ハマ杯、市長杯、
優勝トロフィー、金メダル
準優勝チーム 賞状、市長杯、準優勝トロフィー、銀メダル
第三位チーム 賞状、第三位トロフィー、銅メダル
10. 試合球 JSBB公認C号球(ナガセケンコーボール)を使用する。
試合チームが2個ずつ提出する。
11. 選手宣誓 試合組み合わせ番号 No.23のチーム主将)
12. 日程及会場
抽選会 4月17日(日) 18:00 勤労会館大会議室
及び監督会議
第1日目 5月4日(月祝) 平塚球場、須賀球場、八幡子供球場、四之宮スポ広場。
開会式・1回戦
第2日目 5月8日(日) 須賀球場、八幡子供球場、四之宮スポ広場、崇善小。
2回戦、準々決勝戦
第3日目 5月15日(日) 平塚球場(バッティングパレス相石スタジアムひらつか)
準決勝戦、決勝戦、閉会式
予備日 5月5日(祝)、5月7日(土)、5月14日(土)、5月22日(日)
13. 開始時間
第1日目 集合時間 7:30
開会式 8:00
第1試合 9:00 第2試合 11:00
第3試合 13:00 第4試合 15:00
(但し、平塚球場以外の試合開始は30分遅れ)
第2・3日目 第1試合 9:00 第2試合 11:00(準決勝戦11:30)
第3試合 13:30(決勝戦14:00)
閉会式は決勝戦終了15分後(16:00頃の予定)

- * この大会は、原則として試合時間の繰り上げはしません。(天候不順時は協議)
- * この大会冊子に掲載されている名簿は、チーム紹介です。
- * この大会は、チームのお母さんに、試合アナウンスを担当して頂きます。(平塚球場は不要)

14. 試合運営及びルール

① 試合のスピードアップ

時間内に試合が終了出来るよう、試合のスピードアップに心掛けて下さい。攻守交代は駆け足でおこなうこと。捕手の用具装着が速やかに出来るようベンチの人が協力すること。

② 試合会場での待機

前の試合が終了後、速やかにベンチ入り出来るよう、時間に余裕を持って待機のこと。

③ ベンチ

試合組み合わせ番号の小さいチームが1塁側、大きいチームが3塁側ベンチとする。

④ ユニフォーム及び背番号

ア) 選手及び監督は、同一のユニフォームを着用する。

イ) 選手の背番号は、0～99とし、主将は10を付ける。(2016改訂)

ウ) 指導者の背番号は、監督は30を付ける。(コーチは29、28)

⑤ メンバー票の提出と攻守の決定

試合開始時刻の30分前に本部席(平塚球場は審判室)で主将と監督が同席のうえメンバー票を3部提出し、主将がジャンケンで攻守を決定する。

⑥ シートノック

そのチームの、その日の、最初の試合のみ行う。後攻チームより、各5分間。

⑦ 試合方式

トーナメント方式とする。三位は2チームとし、三位決定戦は行わない。

⑧ 適用ルール

2016年度公認野球規則、JSBB競技者必携および大会特別規則とする。

⑨ イニング数と試合時間

7イニングで、90分(決勝戦は105分)とし、規定時間が過ぎたら新しいイニングに入らない。

なお規定時間が経過したら、イニング数に関係なく、試合成立とする。

⑩ コールドゲーム

ア) 得点差によるコールドゲームは、5イニング終了以降で、7点差とする。(決勝戦はコールドなし)

イ) 降雨、日没によるコールドゲームは、5イニング終了で、試合成立とする。

なお、5イニング未了の場合は、ノーゲームとし、再試合とする。

⑪ 同点の場合の措置

ア) 7イニング終了又は、90分(決勝戦は105分)を過ぎて同点のときは、特別延長戦(無死満塁、継続打順)で勝敗を決める。特別延長戦は2イニングまでとする。

なお、選手の交代は許される。

イ) 特別延長戦で勝敗が決しないときは、抽選により勝敗を決める。

ウ) 決勝戦は、抽選を行わず勝敗が決するまで特別延長戦を繰り返す。

⑫ アピール

アピールが出来るのは、当該選手及び監督とする。

⑬ 投球回数の制限及び変化球の禁止

ア) 投手の投球回数は、1日7イニング以内とする。(特別延長戦も含まれる)

イ) 投手は、変化球を投げてはいけない。

⑭ ファールボールの回収

ファールボールは、飛んだベンチ側のチームが回収する。(バックネット側は攻撃チーム)

⑮ JSBB公認用具の使用

ア) 試合球は、JSBB公認C号球を使用する。金属バットは、JSBB公認のものを使用する。

イ) 打者、次打者、走者、ベースコーチは、JSBB公認のヘルメットを着用する。

ウ) 捕手は、JSBB公認のヘルメット、マスク、プロテクター、レガースを着用する。

エ) 金属製スパイクは使用出来ない。

⑯ 監督が投手のところへ行く回数の制限(規則8.06)

監督が一試合に投手のところへ行ける回数は3回以内とする。

監督が同一イニングに同一投手のところへ二度行けば投手交代となる。

当連盟では、他の守備位置に着いた後、再び投手に戻る事ができる。

⑰ 守備側、攻撃側のタイムの制限

守備側、攻撃側のタイムは1試合に3回以内とする。

⑱ 3塁への偽投

3塁への偽投はボークとなる。